

生産システムにおけるKPI (ISO 22400)の活用と、製造現場のIoT化/見える化を推進するSMKL指標

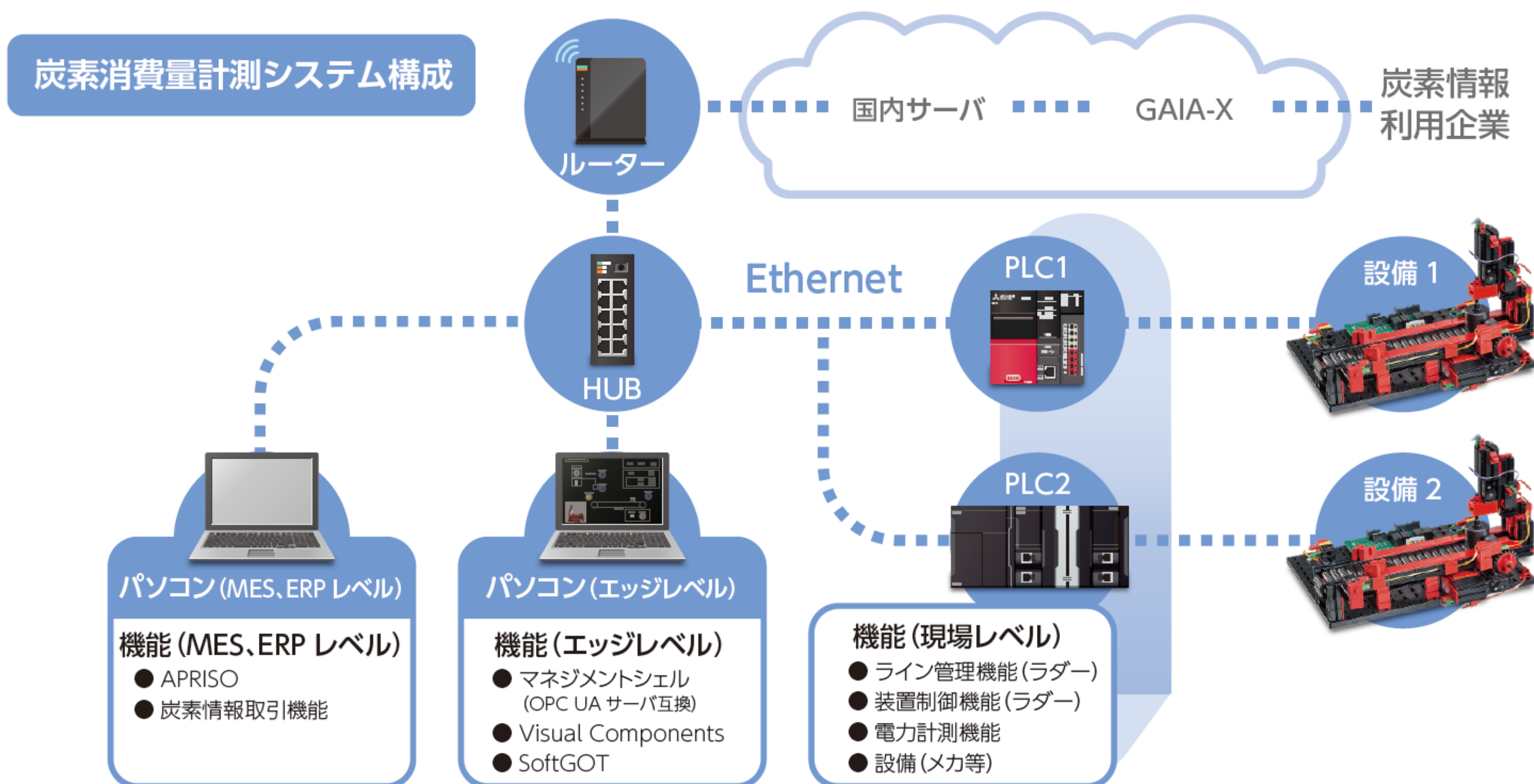
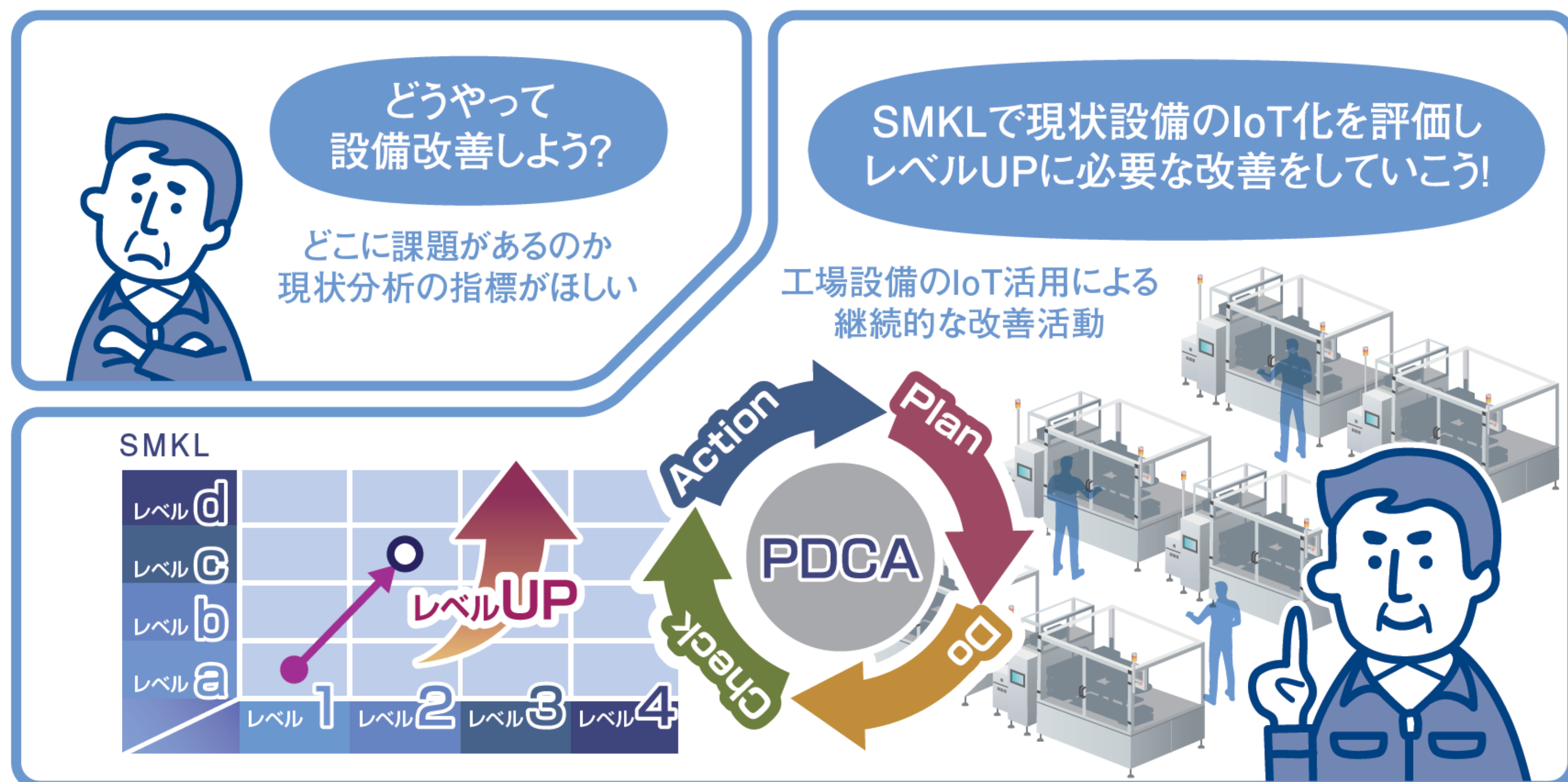
■SMKL プロジェクト

Smart Manufacturing、Industrie4.0などの工場のIoT化が進む中で、製造現場では「何を」、「いつまでに」、「どのくらいの費用を投資したら」、「どのレベルまで」、IoT化が推進、及び改善できるかの“見える化”ができていないため、経営側の投資判断が難しく、

また、工場のIoTの専門家も少ないため、現場担当者もどうしてよいか分からない状況が多くみられます。

そこで、IAFでは「生産システムにおけるKPI (ISO 22400)の活用」と「製造現場のIoT化／見える化を推進するSMKL指標」を提案します。

また、生産システムの自動化に有効な実現手段として、国際標準技術 (OPC, PLCopen, FDT, AML : AutomationML) とモデルベースド・システムズエンジニアリング (MBSE)の活用を提案します。



IIFES2022展示デモシステム

※SMKLとは？

製造現場のIoT化/見える化を推進する指標

→現場のIoTによる改善活動を強力にサポート！

